

公共料金の値上げストップ!
子育て・福祉充実の摂津市へ

市民の願い届け、 実現に向け奮闘!

子ども医療費 助成制度が充実へ

日本共産党は、昨年の市長選挙時でも「**高校卒業までの拡大**」を訴え、議会でも取上げてきました。これまでのこうした取組みも相まって今回、市長が来年度に向けて、「所得制限なしで高校卒業まで、そして**22歳**(大学生)まで拡大することを検討する」と表明。日本共産党は、学費の負担がかさむ高校生や大学生を持つご家庭への経済的支援という点では重要なことと考えています。同時に大事な事は、昨年度廃止した入院時食事代補助(非課税世帯に限定)の復活や待機児童の解消、中学校給食の見直しなど取り組むべきだと主張しています。維新の会は、22歳までは「パラマキ福祉だ」と主張し、予算案に反対しました。



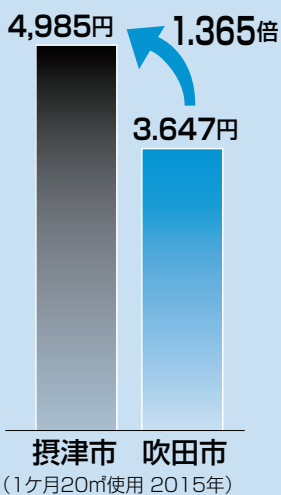
第1回定例市議会

1年間の予算を決める議会で、代表質問にひろ豊議員が立つとともに、委員会審議を通じて5人の議員団は、今日の最大の問題である「格差と貧困を正し、暮らし応援の政治を」、「摂津市の豊かな財政力を暮らしに生かし、市民の暮らしをしつかり守り、支えよ」と訴え奮闘しました。

財源はあります

水道会計は14年間黒字、市の基金(貯金)は146億円

上下水道料金の引き下げ 署名にご協力ください



長年にわたり摂津市の上下水道料金は北摂で一番高い状態です。左図のように、北摂でもっとも低い吹田市と比較すると、1.36倍も高くなっています。安全で安定した水の供給と下水道環境の整備はもちろん大前提ですが、アベノミクスが破綻し、暮らしが大変な時、北摂で一番高い水準は改善すべきです。

今、摂津市は市の基金(貯金)が史上最高の146億円に達しています。また水道会計は、この14年間連続で黒字です。財政面からしても、やる気になれば実現できます。ぜひ署名にご協力ください。

今度は北摂で一番高い
上下水道料金引き下げにみなさんと取り組みます

高卒までの医療費助成制度が実現

来年4月からの予定

2017年度予算

市民要求実現の主なもの

- 公共料金の値上げなし
- JR千里丘駅東口側エレベーターの改修
- 各小中学校の洋式トイレ設置
- がん検診の一環でピロリ菌抗体検査を実施
- 路上喫煙禁止区域の指定と啓発用看板の設置
- 防災デジタル無線の整備
- 鳥飼八町地域の下水道整備(東別府雨水幹線的设计)

日本共産党が、市の責任を後退させるものとして厳しく指摘したこと

- 小学校給食業務委託の拡大(新たに千里丘小)
- 学校校務員業務の民間委託(摂津小・鳥飼西小・二中)
- 学童保育の民間委託
- 正雀保育所の民営化
- 市民サービスコーナーの廃止
- 高齢者インフルエンザ予防接種自己負担500円引き上げ

5月20日 講演と文化のつどい

とき 5月20日(土)午後2時開演
ところ 摂津市民文化ホール

参加協力券
500円

講演

「アベノミクス破たん・ トランプ・維新現象」

1%の富裕層・大企業のための政治ではなく
99%の国民のための政治を



大門みきし 参議院議員

あいさつ



村口 くみ子
党大阪7区国政対策委員長

1人で悩まず、
何でも
ご相談ください

別府2-22-22
06(6)4965-4973



増永 わき

千里丘東5-11-63002
06(6)6682-63001



ひろ 豊

正雀本町1-3-7203
06(6)6381-7165



山崎まさかず

鳥飼野々3-24-3
072(6)653-0715



安藤かおる

昭和園8-11-108
072(6)634-0807



野口ひろし

毎月第3火曜日が法律相談です(弁護士が対応します) あらかじめ議員までご連絡ください。

くらしを
後退させるな

まちづくり、くらしの問題で 積極的提案を行う 日本共産党

国民健康保険料 値下げせよ!

保険料大幅値上げの 大阪府内統一化に反対を!

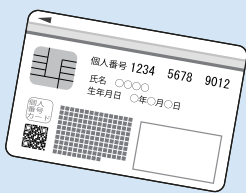
市民から出された「国民健康保険料大阪府統一化反対と保険料値下げを求める請願」が、日本共産党以外の全議員の反対によって否決されました。国民健康保険料は今でも高すぎて払えないと悲鳴が上がっています。摂津市の国保会計は黒字で繰越金が出ていますが、これを使えば、保険料の引き下げは十分可能です。また、大阪府が来年度から実施しようとしている府内統一化によって、摂津市の国保加入者一人当たり保険料は1万7千円の大幅値上げになるとの試算を発表しました。日本共産党は、保険料引き下げと府内統一化反対に、市民のみなさんとともにがんばります。



マイナンバーカード 押し付けないで!

市民サービスコーナー復活を!

住民票などの取得が、マイナンバーカードを使ってコンビニでできるようになったからと、市内5か所の市民サービスコーナーが3月末で廃止されました。しかし、マイナンバーカードの普及率は未だ10.3%、コンビニ交付の利用率はわずか2%です。市の交付事業の30%を担ってきた市民サービスコーナーの代わりにはなりません。市は、市民の声に押され、2年間取次サービスを行うことにしましたが、平日午前中みの開設、申請後受け取りまで最大5日かかるなど、利便性の悪いものです。市民サービスコーナーを復活させるべきです。



「ヒバクシャ国際署名」を ひろげましょう

先日、115か国を超える国が参加し戦後の歴史で初めて、交渉が開始されました。2回目の会議は6月に再開、7月7日には条約の採択をめざすこととなります。「核兵器禁止条約」が採択されれば、核兵器の存在そのものが「違法化」されることになります。残念ながら世界で唯一の被爆国日本は交渉に参加しませんでした。今、全国ではこうした動きを後押しするためとして取組まれている「ヒバクシャ国際署名」を、摂津市も「平和首長会」の一員として、積極的に取組むことを求めました。

保育所待機児童対策 不十分

保育所の入所申し込みを行い、市から保育の必要性を認定されながら128名が待機児童となっています。待機児童はこれから解消どころか、さらに増えることは明らかです。しかし、今年度中の保育所定員増は、民間保育所と民間小規模保育事業所2園による48名しかありません。

定員増を民間任せにせず摂津市の責任で待機児童を受け入れる保育施設を早期に開設することを求めます。



小学校でも中学校でも安全でおいしい給食を

小学校

調理業務の民間委託が拡大 4月から千里丘小も

昨年4月、摂津市と市内2小学校の調理業務委託を請けていた給食会社で、長期にわたる賃金未払いが発覚し契約解除となりました。幸いにも重大な事故につながりませんでしたが、学校給食において、会社の経営状況、労働条件によって、安全・安心が損なわれてはいけません。民間委託を見直し、市直営を堅持すべきです。



中学校

喫食率3.7% 学校給食とは言えない デリバリー方式選択制の見直しを

食べているのはクラスで一人か二人だけ。前払金は最低でも6,000円、就学援助金も適用されない。「これでは、食べたくても頼めない」「こんなだったら、弁当でいいわ」という声が上がります。

来年4月の中学校給食委託契約の更新に合わせ、すべての生徒に栄養バランスのとれた美味しい給食を提供できるように、小学校同様の自校調理・全員給食へ抜本的な見直し検討が必要です。

少人数学級で 学力向上を!

小中学校全学年で35人以下学級を求めた日本共産党の質問に市教委は「学級定数の削減は、個に応じたきめ細かな指導の推進、児童生徒の体格の向上への対応に効果があると認識している。国・府に求める」と答弁しました。摂津市独自でも少人数学級を早期に実施すべきです。

就学援助金 新入学児童生徒学用品費引き上げが実現!

入学時には制服、学用品など多額の費用がかかります。現在、8月末に支給されている新入学児童生徒学用品費を入学準備金として3月までに前倒し支給すべきです。

すでに高槻市、泉大津市、柏原市で新中学生へ前倒し支給がはじまるなど、全国の自治体にひろがっています。

小学校 20,470円 → 40,600円

中学校 23,550円 → 47,400円

8月末支給では
遅すぎ!

入学準備金として
3月までに支給を!

市内バス路線の充実とデマンドタクシーなどの交通整備を

公共施設巡回バスの増便については、検討を進めるという回答があったものの、現行の路線では使い勝手が悪いという声がたくさん寄せられています。小型ワゴンなどで狭い道でも通れるように、タクシー会社などとの連携も研究して、市民の生活の利便性向上につながるデマンド交通の整備などを求めています。



▲セツピイ号

議会定数21から2削減で19に!

日本共産党は反対!

民意の多様性を反映した市政チェックなど議会機能の弱体化まねく 切られるのは「議員の身」でなく多様な市民の声

議会最終日、おおさか維新の会が提出した5削減の定数削減案と与党会派が提出した2削減の修正案を審議、即日採決し、今年9月の市会議員選挙から議会定数を定数2削減、19人となりました。

議会は、二元代表制の一翼を担い、市長の行政運営を多様な市民の意思を反映しチェックする役割を持ちます。定数削減はこの機能を弱めるものです。

摂津市議会は、合意のもとに議会の改革を進めてきましたが、定数削減についてはどの会派からも提案されていません。定数削減の合理的根拠も示さず、選挙を前に突然本会議に上程し、強行することは、民主的ルールにも反します。

日本共産党は、今、重要なことは定数削減ではなく、議会機能をたかめる改革であると主張し、定数削減に反対しました